

ゴミを出さない暮らしをしていますか？

三重県では、「ゴミゼロ社会実現プラン」を策定し、「ゴミを出さない」、「ゴミが出にくい」生活が当たり前のものとなり、どうしても出てしまうゴミは、資源として有効利用される「ゴミゼロ社会」をめざして取組を進めています。

みんなであそぼう“ゴミゼロ社会”

風呂敷っているいる使えて便利だよ♪

マイバッグを持ってお買い物♪

お出かけには
マイボトル♪



三重県ゴミゼロキャラクターゼロ吉

「ゴミゼロ社会」づくりは、県民の皆さんの暮らしに関わる重要な取組です。

家庭から出されるゴミの量は、この10年間ほぼ横ばいで変わっていません。
もし、このままゴミの排出が続けば…

- ① 地球温暖化の進行
- ② 大切な資源がなくなる
- ③ 施設の更新に伴う費用負担
- ④ 埋立処分場で処理しきれない

といった事態を招き、ゴミ処理システム自体が破綻しかねません。そこで、三重県では、今まで以上にみんなが協力して、「ゴミゼロ社会」の実現をめざした新しい社会のしくみづくりに取り組んでいます。

ごみを

減らしましょう



全国平均
1,116g

平成18年度1人1日あたり
ごみ排出量比較

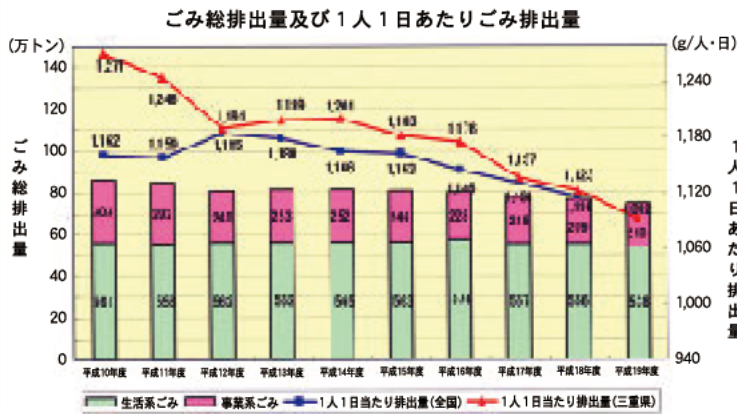
三重県
1,123g



どのくらいごみを出しているの？

ごみの排出量について、ここ数年の推移をみると、事業系ごみは順調に減少している一方で、家庭から出る生活系ごみは横ばいという状況が続いています。

また、1人1日あたりのごみ排出量でみると、平成18年度は、17年度に比べて1.2%ほど、5年前の13年度からは6%ほど減少していますが、依然として全国平均を上回っています。

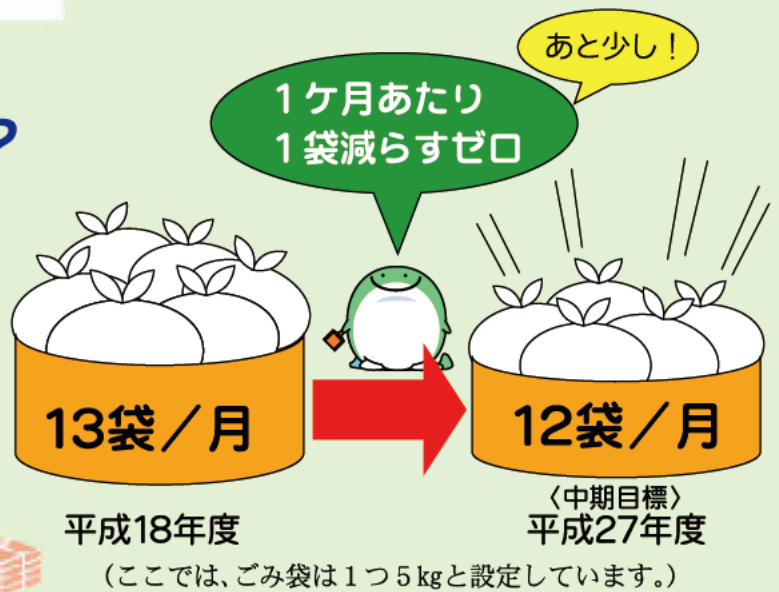


ごみは、どのくらいまで減らせばいいの？

県内の各家庭から1ヶ月に排出されるごみの量を“ごみ袋”に換算すると、平成18年度は、1世帯あたり13袋となっています。

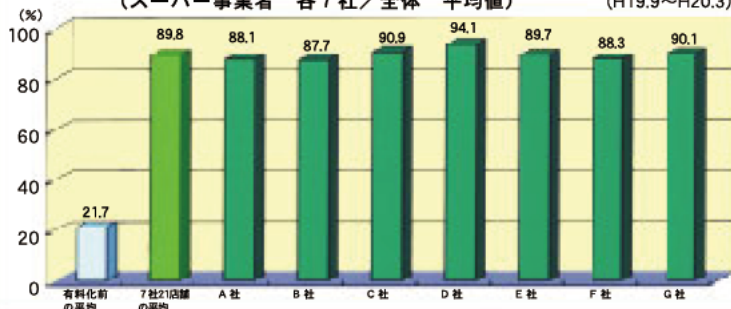
ごみゼロプランでは、中期目標の平成27年度までに12袋、目標の平成37年度までに9.8袋に減らすことを目標にしています。

中期目標の12袋まで、あと1袋！
ごみ減量化への一層のご協力を
よろしくお願いします。



～伊勢市:レジ袋有料化・マイバッグ持参の取組～

「伊勢市レジ袋有料化」スタート後半年間のマイバッグ等持参率
(スーパー事業者 各7社/全体 平均値) (H19.9～H20.3)



ごみ減量化には、どんな取組があるの？

伊勢市では、全国に先駆けて事業者・市民・行政の協働により、市内の主要スーパー全店で、平成19年9月21日から、食料品売場のレジ袋が一斉に有料化され、有料化後のマイバッグ等持参率は約90%と、実施前の約20%から大幅にアップしています。

また、平成20年に入り、伊賀市・名張市、鈴鹿市・亀山市においても、レジ袋が有料化されました。県では、このようなごみ減量化に向けての地域の取組みを支援しています。

